

講座番号 <b>D12</b>	講座名：
	<b>アクティブラーニングとしての防災教育</b>
講師名： <b>東北大学大学院 教育学研究科 谷口 和也</b>	

対象者	未就学児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たまきさんサロン</li> <li>・受講団体が準備 (教室、講義室など)</li> </ul>
------	--

対応人数	10人～40人程度 (応相談)
所要時間	45分～120分程度 (応相談)
受講者が準備するもの	プロジェクター、スクリーンなど (なければ当方で対応できます)

参考教科 ※1	小4 社会 小5 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座概要	学校や地域で参加者が主体的・対話的に学びながら防災について考える講演
講座内容	<p>①さまざまなアクティビティを通して地域防災について話し合うワークショップ。学校や地域の実情やリクエストに合わせて数十種類の授業プランから組み合わせて構成いたします。参加者が楽しくそれぞれの地域や環境に合った防災について学べるアクティビティを用意して、投げ込み授業や単独の講演会を行います。上記参考科目以外にも、さまざまな学年・校種・教科目に対応が可能です。</p> <p>②上記の授業をオンラインで行ったり、YouTube の動画経由で行ったり、指導する先生方を介して間接的に行うこともできます。各校や団体の実情に合わせてご相談ください。</p> <p>③災害時でも水も使わず、異臭・悪臭もしない環境にやさしい携帯トイレの製作体験。小学生にも作っていただけます。作ったトイレは、教室で非常時のためにストックいただけます。また、この活動は、高齢者施設や地域へ非常用携帯トイレを寄贈するという、子どもたちの身近な社会参画にも発展させられます。</p>
講師よりコメント	一般の防災教育は「非常時に対応するための知識や態度」を教えるものが多いですが、これらの授業は、それぞれの地域や環境に合わせて「日常生活における子どもたちの役割自覚」をめざしたものが多いのが特徴です。
備考	1時間授業 (45分)、2時間授業 (90分) など受講者にあわせて、ご相談ください。